

アレクサさんが任期を終え帰国



▲浴衣も着こなすアレクサさん

昨年7月に着任し、飯館中学校の英語指導助手として活動されてきたアレクサ・ソフイー・エリザベス・ドーマンさんが、1年間の任期を終え母国イギリスへ帰国されました。

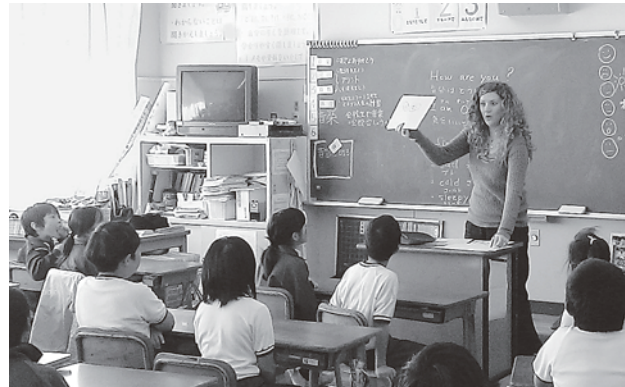
アレクサさんは、中学校の英語指導以外にも小学校や相馬農業高校飯館校での指導を行いました。

アレクサさんはウォーキングが趣味で、地域住民には歩いて出勤する姿なども親しまれており、住民らは「アレクサさんは笑顔で話しかけやすかった。帰国しても元気で頑張っただけ」と話していました。

また、村のイベント等にも積極的に参加し、一日消防分署長を務めたり、公民館での英会話教室やはなづか太鼓、バトミントン、習字に参加したり、日本の生活や伝統文化を体験しながら村民と交流を深めてきました。



▲飯館小の七夕コンサートでは太鼓を披露



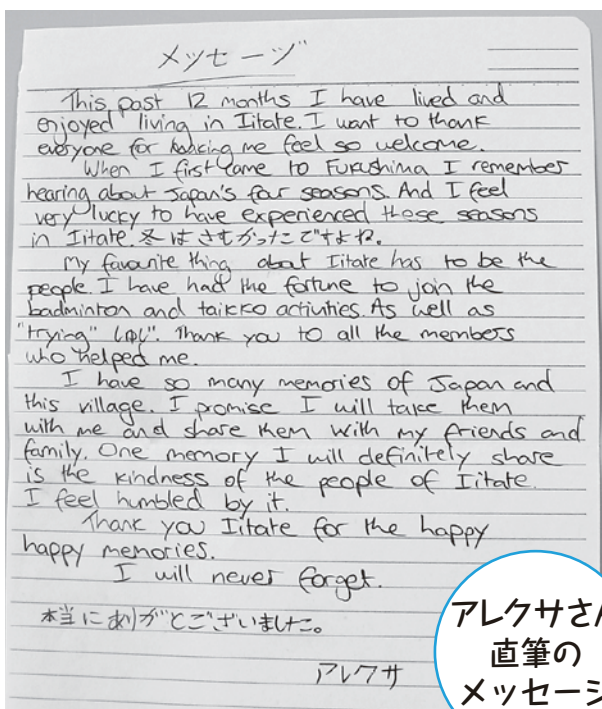
▲草野小での授業のようす



▲英語の絵本の読みきかせも



▲一日消防分署長も務めました



アレクサさん
直筆の
メッセージ

この1年間、飯館に住み、ここでの生活を楽しくできました。私を優しく受け入れて下さった事を皆さんに感謝しています。

初めて福島に来たとき、日本の四季について話を聞いたことを覚えています。飯館村でこうした季節の移り変わりを体験することができて、とても幸運だったと感じています。冬は寒かったですよね。

私の飯館が好きなのは皆さんの人間性です。私は幸運にもバトミントンや太鼓の活動に参加したり、習字に挑戦する機会を得ました。私を助けてくれた全てのメンバーに感謝しています。

私には日本、そしてこの村についてたくさんの思い出があります。私はそれらの思い出を持ち帰り、友達や家族と共有することを約束します。私が共有したい一番の思い出は飯館村の人々の優しさです。皆さんに優しくしてもらって、自分の生き方を振り返る機会になりました。

本当に楽しい思い出を作ってくれた飯館村、どうもありがとう。

私は絶対に忘れません。

本当にありがとうございました。

アレクサ